

事業所名

スパーク逗子×山本メディカル（児童発達支援）

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025 年

3 月

7 日

法人（事業所）理念		「すべては『子どもたちの自立力向上』のために」 ・スパークメソッドに基づいた運動療育で、脳とこころとからだを育む。 ・子どもたち一人ひとりの「やってみたい!」を大切に、自発性を引き出す支援。 ・家族と共に、地域と共に、安心できる居場所とつながりを創出する。								
支援方針		1. 科学的根拠に基づいた「スパーク運動療育」を軸に、五領域支援を体系的に提供します。 2. 未就学児の発達段階に応じた遊びや生活支援を通して、基礎的な力を育みます。 3. 家庭と連携し、生活リズムや情緒の安定をサポートします。 4. 保育園や療育機関との連携を深め、就学への移行を支援します。								
営業時間		9 時	30 分	から	18 時	30 分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	日々の健康状態を丁寧に見守りながら、体調の変化に早く気づけるようにしています。また、着脱や手洗いなどの生活習慣については、お子さまの発達段階に応じて、遊びや視覚的な支援を取り入れながら、無理なく身につけられるよう支援しています。								
	運動・感覚	スパークメソッドに基づき、トランポリンやサーキット遊びなど、からだをたくさん使う運動あそびを通じて、バランス感覚や筋力、感覚統合の力を育みます。遊びの中で「楽しい」「できた」という気持ちをたくさん感じられるように環境を整えています。								
	認知・行動	積み木や型はめ、マッチングなどの課題遊びを通じて、物の形や色、順番やルールなどを楽しく学べるようにしています。また、活動の見通しが持てるよう、絵カードやスケジュール表を使い、安心して過ごせるような支援を心がけています。								
	言語 コミュニケーション	絵本の読み聞かせや歌あそび、言葉のやりとりを通して、「ことばって楽しい!」という気持ちが育つような関わりを大切にしています。ことばでの表現が難しいお子さまには、指差しやカードなど、伝えやすい方法を一緒に探しながら支援しています。								
	人間関係 社会性	スタッフとの関わりやお友達とのふれあいを通して、安心できる人とのつながりを感じられるようにしています。順番を待つ、貸し借りする、ありがとうを伝える…そんな日常の中での小さなやりとりから、社会性の芽を育てていきます。								
家族支援		・連絡帳・LINE等で日々の様子を共有 ・発達段階に応じた家庭支援アドバイス（例：排泄、食事、着替えなど） ・保護者面談と家庭での関わり方の相談				移行支援		・年長児向けの「就学準備プログラム」実施 ・保育園、幼稚園、相談支援事業所との連携 ・小学校見学や説明会への同行支援		
地域支援・地域連携		・保育園・幼稚園との合同イベントや交流支援 ・地域の療育機関・医療機関との情報共有 ・相談支援専門員との個別支援会議				職員の質の向上		・スパーク協会の研修受講、動画共有による研修実施 ・内部事例検討会 ・幼児発達・感覚統合・子どもの発達心理に関する学習		
主な行事等		・季節行事（節分、七夕、クリスマス） ・親子運動あそび会 ・地域交流イベント								